

日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会（第3回） 意見内容・対応方針整理表

資料 1

項目	発言者	意見内容	総括	対応方針
対象敷地について	-	宮崎(精)委員 意見として出されている機能を全て導入しようとすると、キャパシティをオーバーする可能性が高い。一部は、日野本町地区内の別の敷地で提供することを視野に入れても良いのではないか。	限られた敷地の中で最大限のサービスを提供	事業の実現性を担保するため、現状の法規制の中で、対象敷地内での検討を進める。
共用空間のあり方について	全般	川崎委員長 共用空間での交流の実現は、基本構想の肝であり、再編施設の個性となる部分である。	共用空間での交流の実現が事業の肝・個性となる部分／集約拠点Ⅱの施設との機能分担を検討 キーワード： 作品展示スペース／歴史・文化や観光情報の発信スペース	基本構想（案）をとりまとめる際の参考とする。
		渡邊委員 共用空間の充実が全てである。それにより生まれる余剰スペースにおいて、新たにどのような機能を割り当てられるかなどの検討を進める必要があるため、早い段階で規模を示してほしい。		基本構想（案）をとりまとめる際の参考とする。 規模については、基本計画を検討する段階で示す。
		伊野委員 キッズスペースについては、行動範囲や遊び方に応じ、利用年齢にあわせて細分化すべき。		今後の検討（設計プラン等）を検討する際の参考とする。
		小杉委員 作品展示や展覧会のできるスペースがあると良い。		基本構想（案）をとりまとめる際の参考とする。
		石川委員 対市民としては作品展示ができる場所、対市外としては日野の歴史・文化や観光情報の発信ができる場所になると良い。		
	生活・保健センター	太田委員 貸室の活用を検討すべき。		基本構想（案）をとりまとめる際の参考とするとともに、施設間の移動や駐車場の設置とあわせて、今後の検討の参考とする。 『新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画（素案）』の一部内容を盛り込む。
	木村委員 集約拠点Ⅰとは距離があることを十分考慮して、共用サービスの提供に向けた検討を進めるべき。			
日野第一小学校	木村委員 特別教室等の共用化を考えるべき。			
必要諸室・空間について	全般	川崎委員長 諸室を所管課ごとに考える必要はない。それを実現させるためのマネジメントは行政が考えることである。	行政の組織横断によるマネジメント／利便性を考慮した設え・自然と交流が生まれる設え／サイレントコントロール／ユニバーサルデザイン	今後の検討（管理運営等）を検討する際の参考とする。
	公民館	川崎委員長 特定の団体のみが利用可能な諸室を設けることについては慎重に検討すべき。		今後の検討（設計プラン等）を検討する際の参考とする。
	児童館	太田委員 児童館の入る建物内に調理室を設置してほしい。		
		太田委員 子どもたちの活動の場は、児童館職員が配置されている場所で提供されるべき。		
	図書館	菊地委員 対面朗読や録音ができる場所がほしい。		
	その他	佐藤委員 これまでのように備品等の保管場所を確保してほしい。		
建築計画・施設計画について	-	木村委員 利便性を考慮したうえで、諸室の規模や防音に考慮した間仕切り等を検討していく必要がある。		今後の検討（設計プラン等）を検討する際の参考とする。
		佐藤委員 開けた空間で活動ができる施設となることで、利用者同士が自然と触れ合えるようになるのではないか。		
		川崎委員長 静かにするスペースと音を出しても良いスペースをコントロールするなど、工夫が必要。		
		藤田委員 障がいのある方でも皆が同じ入口、同じトイレ等を利用できるように工夫することで、だれもが利用しやすい施設になる。		
		川崎委員長 公共交通の利便性向上は、駐車場の規模とセットで検討する必要がある。		
施設の運用について	-	木村委員 防災の観点から、施設が日常的に利用され、利用者が施設の場所等がある程度イメージできることが重要。	日常的に利用される施設／コーディネーターの配置	今後の検討（管理運営等）を検討する際の参考とする。
		木村委員 利用者同士を繋ぐコーディネーターを配置することで、交流が促進されるのではないか。		
その他	施設名称	小池委員 個別の施設名称を残すのか、複合施設として新しい施設名称を考えるのか。	周辺環境の検討とあわせた施設の整備	市民の皆様から意見を頂戴して決めていく。
	保存木	滝本委員 以前より保存をお願いしていたイチヨウの木が一部切られてしまい、大変遺憾である。		今後の取扱いについて、慎重に検討を進める。
	周辺環境	小杉委員 街路灯の設置、建物外のバリアフリー、ミニバスの運行等、周辺環境についても並行して検討すべき。		今後の検討（設計プラン等）を検討する際の参考とする。
		木村委員 施設の整備とあわせて、道路のバリアフリーを考えるべき。		

